キャリア教育だより

令和6年7月22日
第　１３１号
高　校　教　育　課

令和６年度がスタートして早や３ヶ月が過ぎようとしています。各学校では1回目の考査が終わり、次年度の選択科目を決めたり、夏季オープンスクールやインターンシップの行き先を決めたり、あるいは本格的に進路選択をしたりする時期ですね。

高校３年間の夏は、他のどの年齢よりも鮮明に「○○に取り組んだ」「○○をしてこんな成果があった」という記憶が残る季節ですが、それは、真剣に自分のキャリア選択（進学でも就職でも）を考える時期で、それに向かって行動しているからでしょう。

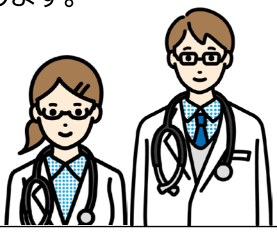
何年後かの皆さんがこの2024年の夏を振り返ったとき、いい思い出の多い夏となるように、私たちも生徒の皆さん、先生方を応援する内容になるよう、この「キャリア教育だより」を発行していきます。

令和6年度の事業予定

進学希望者向け

医師を志す高校生支援事業

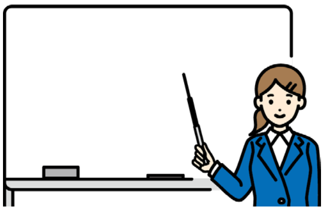
将来、宮城県の医師として活躍する志を持った人材の育成を目指します。



進学希望者向け

教師を志す高校生支援事業

将来、宮城県の教師として活躍する志を持った人材の育成を目指します。



就職希望者向け

進路達成支援事業

① **「就職達成セミナー」**
就職試験の受験前にガイダンスや模擬面接などを行います。

② **「高校生入社準備セミナー」**
就職が内定した生徒に、社会人としてのマナーや基本的な労働法の知識を身につけるためセミナーを行います。

③ **「高校生の将来を考える保護者セミナー」**

④ **「将来セミナー」**
1、2 年生向けのキャリア選択を考えるためのセミナーです。

合同企業説明会・就職面接会

① **「合同企業説明会」終了**
7/5 気仙沼、7/11塩釜、
7/16 大河原、7/17 大崎、
7/18 石巻、7/23 仙台

② **「就職面接会」**
10/17 石巻、10/24 仙台

より学びたい・知りたい人向け

高大連携事業

今年度も、高校生が自ら学ぶ意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を一層深めるとともに、主体的な進路選択を行うため、県内16の大学・短大と連携した「**公開授業・公開講座**」が6月からスタートしています。今後の開講講座の詳細は、高校教育課のＷＥＢページを御覧ください！

白石、佐沼地区において開催された「**地区公開講座**」も参加者に好評でした。石巻地区の公開講座についは今後のお知らせをお待ちください。

理系・就職希望者向け（**新企画**）

12月ごろ半導体企業の研究・業務内容に興味のある生徒向けのバスツアーを計画中です。詳細が決まりましたら改めて各学校にお知らせします。

令和７年卒業予定者　就職に関するスケジュール

求人票だけでなく、応募前見学等で現場の空気感や通勤距離等、さまざまなことを考慮して応募先を決めましょう。まずは保護者、担任の先生、進路の先生と相談してみてください！

6月1日～ ハローワーク求人受付 開始 → 7月1日～企業による学校への求人申込開始 → 各校の日程 面談 応募 選考 推薦決定 → 9月5日 応募書類 受付 → 9月16日～ 就職試験 開始

令和6年3月卒業者　データ編

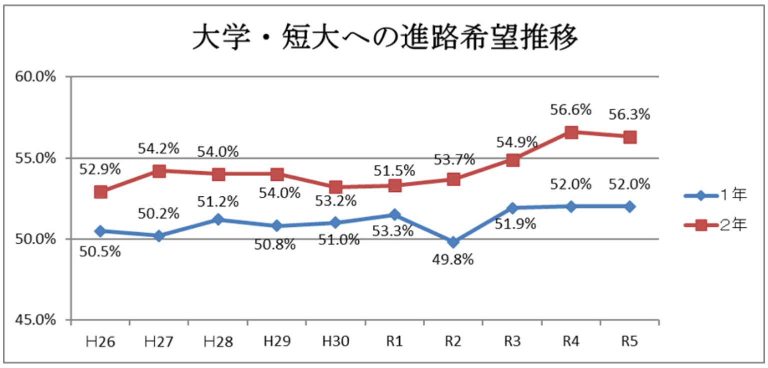
(1)就職について

	令和６年３月卒（６月末時点）	前年度	増減		令和６年３月卒（６月末時点）	前年度	増減
卒業生数	16,955	17,848	-893	進学希望者	13,601	14,250	-649
就職内定者数	3,097	3,299	-202	臨時的仕事希望者	209	245	-36
就職未内定者数	3	9	-6	進路未定者	45	45	0
就職者の内訳							
県内内定者	2,428	2,647	-219	県外内定者	669	652	17

宮城県内の令和6年3月卒業者の就職内定率は、これまでにない「99．9%」という結果となりました。これは、「売り手市場」と言われる状況で、求人倍率が5倍に迫ることや、1年生のうちからのキャリア選択について意識的にがんばってきたことの表れであると考えられます。進路傾向としては、就職者割合が減少し（令和5年度18．5%→令和6年度18．3%）、進学希望者が増加しました。また、臨時的仕事希望者は昨年度と比べて減少しました。

今後、県内には大手半導体メーカーの工場立地が決まっています。それに伴い、ものづくりに関わる多くの中小企業も、積極的な採用を考えると予想されます。1年次から、計画的に自分のキャリア設計を行うことや、自分の強みを意識して、学びにつなげていきましょう。

(2)進学について



宮城県内の大学・短大進学希望の推移のグラフは令和4年度（1年生）<u>52．0%</u> → 令和5年度（2年生）<u>56．3%</u> と推移しているのがわかります。

1年生から2年生の間に進路意識が高まり、大学・短大への希望者が増加しているようです。

令和6年度入試の受験環境としては、18歳人口減・大学志願者数減少・私立大定員増、また競争緩和傾向になっています。早めに適切なキャリア選択をし、前述の「高大連携事業」「医師を志す高校生支援事業」「教師を志す高校生支援事業」等に取り組んでみると、自分の学びの強い動機付けができ、一層励みになるのではないでしょうか。

●令和6年度大学入学共通テストについて（大学入試センター公表資料より）

①高等学校教育の成果として身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題作成

②高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のメッセージ性も考慮し、授業において生徒が学習する場面や、社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面など、学習の過程を意識した問題の場面設定を重視

これらのデータを活用し、進むべき適切なキャリア選択ができるよう、応援しています！